



松橋 隆治 (MATSUHASHI Ryuji)

東京大学大学院工学系研究科電気系工学専攻 教授

東京大学工学部卒業、
同大学院工学系研究科電気工学専攻修士課程修了、
同博士課程修了。
工学博士。

東京大学資源開発工学科助手、同大学院工学系研究科地球システム工学専攻助教授、同大学院新領域創成科学研究科環境学専攻助教授、教授を経て 2011 年より現職。2009 年より科学技術振興機構 低炭素社会戦略センター研究統括も併任。

専門は環境システム工学。エネルギー供給、変換システムを総合的なシステムとしてその供給源選択に関する弾力性を上げる統合型エネルギーシステムのモデル開発と、そのための要素技術の研究、統合型プラントの概念設計を行うとともに、総合システム評価手法を研究し、その柔軟性、効率性、環境性などを考慮した最適システムの設計をおこなう研究を進めている。具体的な研究例として、(1)環境問題に対応できる新しいエネルギーシステム構築のための研究、(2)環境改善技術のライフサイクル評価、(3)地球環境改善と南北格差縮小を目的とした技術移転の可能性評価、特に効果的な移転をもたらす経済システムの研究、(4)要素技術の分析手法とシステム統合手法のハイブリッドによる、技術の環境・社会への影響評価、及び望ましい技術普及策の研究、などが挙げられる。

主な著書に『環境の産業連関分析』(共著、日本評論社)、『京都議定書と地球の再生』(共著、NHK 出版)、『企業と環境経営 一循環型社会実現に向けた企業・政府への提言』(共著、日本経済調査協議会) など、他共著多数。